

PAT-NO: JP357052626A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 57052626 A
TITLE: TURBOCHARGER
PUBN-DATE: March 29, 1982

INVENTOR-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
INOUE, KAZUO
KATO, KENTARO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
HONDA MOTOR CO LTD N/A

APPL-NO: JP55127890
APPL-DATE: September 17, 1980

INT-CL (IPC): F02B037/00 , F02B067/00
US-CL-CURRENT: 60/605.1

ABSTRACT:

PURPOSE: To ease the setting of intake pulsation effect by fixedly suspending, as an integrated member, a turbo charger of a motorcycle, in a space under the lower surface of an exhaust manifold located in the upstream of an exhaust passage.

CONSTITUTION: A turbo charger 6 is provided in front of an engine 1, said charger 6 comprising an exhaust gas turbine 3 and a compressor 5, while a prechamber 7 is placed in a V bank 8 formed above the upper surface of the engine 1. Then, the turbo charger 6 is located below exhaust manifold 2a such that it is fixedly suspended from said manifold 2a to form an integrated unit. Thus, an intake passage 4 can be comparatively elongated in its way between the compressor 5 and the prechamber 7 and this elongated length is useful for setting the intake pulsation effect.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

ンペを介してこれを該エンジンの上面のVバンク内に配置する式のものにおいて、該ターボチャージャを該排気通路の上流側の排気マニホールドの下側に、それと一体的の吊下型に固設することを特徴とする。

本発明の実施例を別紙図面に付説明する。

第4図はその1例を示すもので、(1)はV型エンジンを示し、該エンジン(1)の前面に排気通路(2)の排気タービン(3)と吸気通路(4)のコンプレッサ(5)とから成るターボチャージャ(6)を備え、更に該コンプレッサ(5)の下流側の該吸気通路(4)に介入されるブリヂャンペ(7)を該V型エンジン(1)の上面のVバンク(8)内に配置する。

本発明によれば、該ターボチャージャ(6)を該排気通路(2)の上流側の排気マニホールド(2a)の下側に位置させてこれに一体的の吊下型に固定する。かくて吸気通路(4)は該コンプレッサ(5)から該ブリヂャンペ(7)にのびる部分において、該排気マニホールド(2a)の前面からその上側を後方にのび、全体として比較的長手に得られる。

このように本発明によるときはターボチャージャを排気マニホールドの下側とするもので、そのコンプレッサからV型エンジンの上面のVバンク内のブリヂャンペにのびる吸気通路部分は比較的長手となり、かくて吸気脈動効果の設定を簡単且容易にすることが出来、更に該ターボチャージャは該排気マニホールドの下側に位置してそれにより加熱される型式に得られる等の効果を有する。

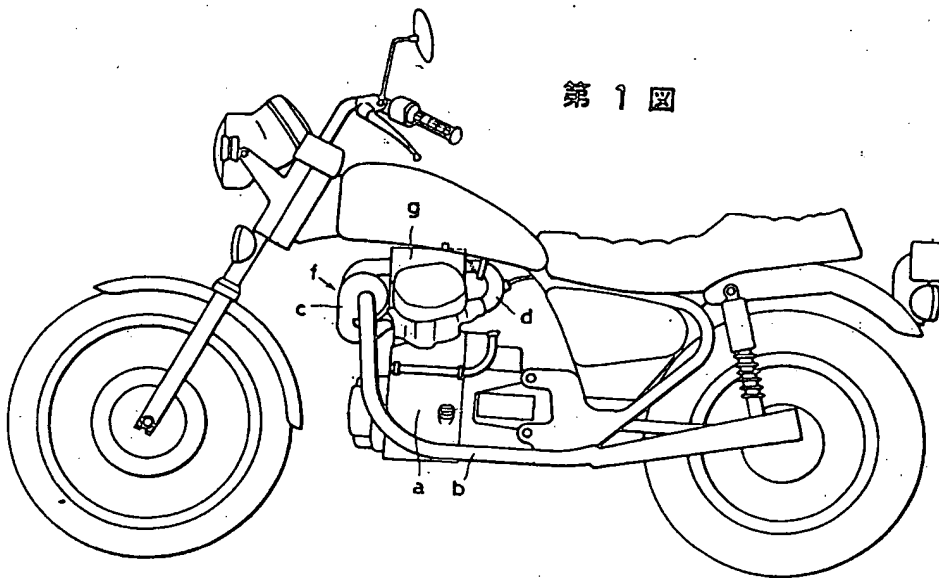
4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第3図は従来例の説明図、第4図は本発明装置の1例の正面図である。

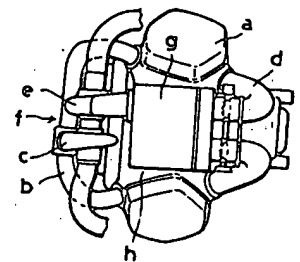
(1)…V型エンジン (2)…排気通路 (2a)…排気マニホールド (3)…排気タービン (4)…吸気通路 (5)…コンプレッサ (6)…ターボチャージャ (7)…ブリヂャンペ (8)…Vバンク

特許出願人 本田技研工業株式会社
代理人 北村 欣一

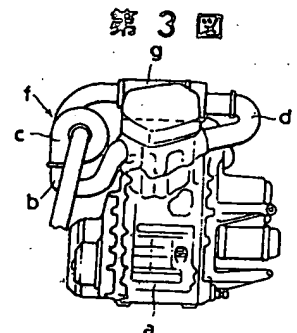
外2名



第1図

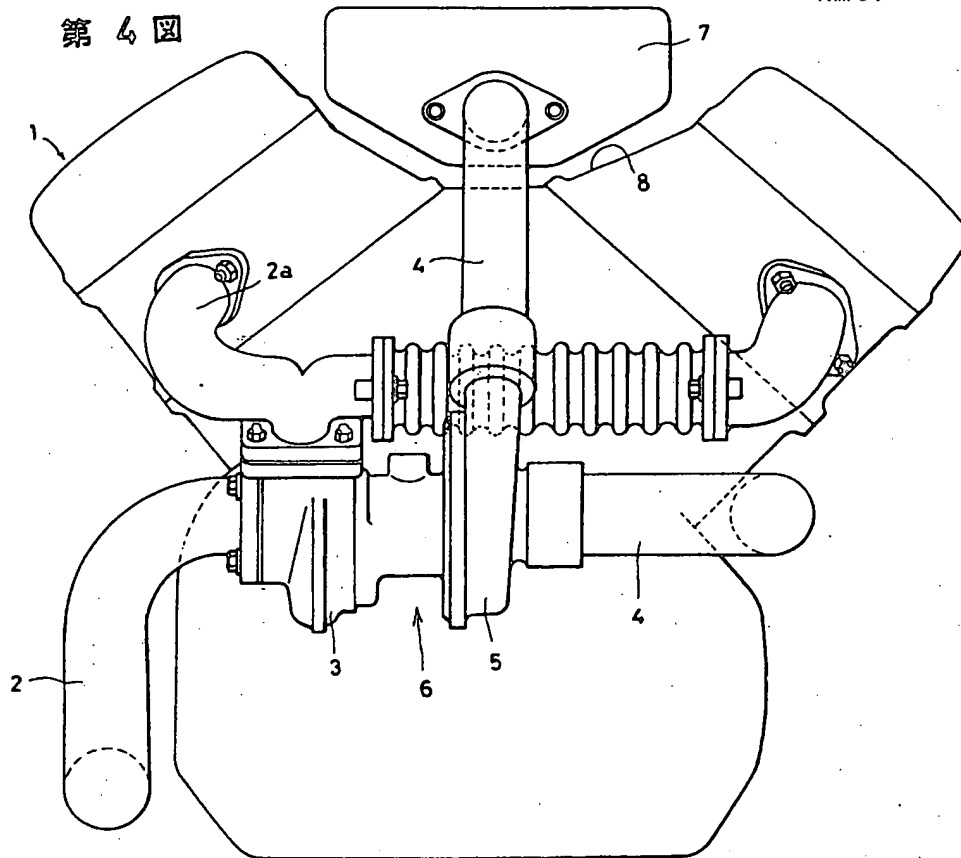


第2図



第3図

第 4 図



手 続 補 正 書 (自 発)

昭和 55 年 10 月 27 日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

昭和 55 年 特 許 願 第 127890 号

2. 発 明 の 名 称

ターボチャージャ装置

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

552 本田技研工業株式会社

4. 代 理 人

東京都港区新橋2丁目16番1号 新橋ビル703

6002 弁護士 北 村 欣 一

電話 503 7811 B (代)

5. の日付

昭和 年 月 日

補正の対象

明細書の「発明の詳細な説明」及び「図面の簡単な説明」の欄

補正の内容

- (1) 明細書第 2 页第 6 行目の「ターボチャージャ……」から第 8 行目の「……膨コンプ」までを下記の通り訂正する。

配

「ターボチャージャは全図示のように膨排気通路 7 の上流側の排気マニホールドの上側に位置して設けることが行なわれ、かかるものでは膨コンプ」

- (2) 同第 4 页第 8 行目に「……加熱される型式に得られる等の効」とあるを「……加熱されない等の効」に訂正する。

- (3) 同第 4 頁の「4. 図面の簡単な説明」の欄に於て、「第 1 図乃至第 3 図は従来例の説明図、第 4」とあるを「第 1 図乃至第 3 図は先例の説明図、第 4」と訂正する。